

# 施策評価シート（平成29年度実績評価）

## ◎ 施策の基本情報

総合計画 中期プラン	政策No.	5-1	政策名	効率的・効果的な行政運営	政策の 目指す姿	満足度の高い行政サービスを提 供しています	施策 主管課	秘書政策課	施策主管 課長名	菅野 圭
	施策No.	3	施策名	わかりやすい市政 情報の発信	施策の 目指す姿	タイムリーでわかりやすい市 政情報を提供しています	関係課名	東和総合支所 地域振興課		
	現状と課題	・広報やホームページ、コミュニティFM、SNSなどの市が所有する媒体を活用し、市政情報を発信していますが、さらに迅速・正確に、より多くの方々に情報が伝わるよう、若者、高齢者など、幅広い年齢層や生活形態に合わせた情報発信方法の多様化が必要です。								

## ◎ 前年度の評価の振り返り

### （前年度評価時の今後の方向性）

- ・紙媒体の広報はなまきにおいては、イベントやお知らせに加え、市が取り組んでいる課題などを市民の方々にお知らせしていく。
- ・主として若い世代をターゲットとして、市ホームページ掲載記事の充実、SNSの一層の活用を図るほか、マチイロの周知も図っていく。
- ・コミュニティFMの「こちら市役所情報局」において、定例記者会見で取り上げた項目や広報はなまきのトップ記事などを取り上げていく。
- ・市ホームページリニューアルに向け、市民の意見を聞きながら、次期ホームページの目指す姿を検討し、取りまとめを行う。

### （反映状況）

- ・広報はなまきは、市が取り組んでいる課題を市民にわかりやすく伝わるよう工夫した。
- ・ホームページ掲載記事のタイトルをわかりやすくする掲載するとともに、SNSからの情報発信も活用した。また、H29.10月より市内高校に広報はなまきと「議会だより」を送付することとした。
- ・コミュニティFMでは、定例記者会見の内容や広報はなまきのトップ記事などを取り上げて放送した。
- ・ホームページリニューアルに向け、市民ワークショップを開催するなど、次期ホームページの目指す姿を検討し、取りまとめた。

## 1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組

### (1) 市政情報の発信強化

- 「広報はなまき」やホームページ掲載情報の充実
  - ・広報は毎月1日（1月を除く。）・15日に広報はなまき発行 広報アクセスアプリ「マチイロ」登録者数858人（前年比144人増）
  - ・市ホームページアクセス数 H29:2,801千件、H28:2,469千件、H27:2,200千件
- より見やすいホームページのリニューアル
  - ・H30のホームページリニューアル作業に向け、市民ワークショップ開催等を経て、プロポーザル等方針決定
- コミュニティFMやSNSなど様々なメディアによる情報発信
  - ・コミュニティFMでは、定例記者会見の内容や広報はなまきのトップ記事などを取り上げて放送
  - ・フェイスブックやツイッターを活用して市政情報を発信 FBリーチ数 H29:763千件、H28:1,065件、H27:690千件
  - ・有線放送はH29より放送事業を民間に委託して実施
- 定例記者会見の開催などマスメディアを通じた情報発信の強化
  - ・毎月の定例記者会見の資料をインパクトのあるものに見直したほか、積極的にマスコミリリースを行った。
- 市政懇談会における市政の取り組みなどの情報発信の強化
  - ・27のコミュニティ地区ごとに市政懇談会を開催した。

## 2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測 ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握す るのか)	単位	数値 区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31
					目標値					
				目標値						
				実績値						

## 3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因

4 施策を構成する事務事業一覧

番号	事務事業名 事業内容(活動実績)	担当課	施策への貢献度		成果
			対象 直結度	意図 直結度	
1-1	広報活動事業 広報はなまき、コミュニティFM、市ホームページ、花巻ケーブルテレビ、SNS(フェイスブック、ツイッター)を活用した市民への情報発信(広報はなまき年23回発行・35,900部/回)	秘書政策課	一致	直結	B
			A		
1-2	広報活動事業 東和地域における有線放送による情報発信(有線による放送件数661件/年)	東和総合支所地域振興課	一致	直結	B
			A		
2	花日和発行事業 花巻ブランドデザイン情報誌「花日和」による首都圏在住者向けの情報発信(発行部数 24,000部)	秘書政策課	間接・少数	間接・補完	C
			C		

5 施策を構成する事務事業の検証

<p>(①市民ニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストのわりに成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか) ・なし</p> <p>(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか) ・広報活動充実事業について、市民アンケート「市役所からの情報提供がタイムリーで分かりやすい」割合はH28の62.5%からH29は64.7%と上昇しており概ね目標どおりという結果ではあるが、より一層わかりやすく、タイムリーな情報発信という意識を持って取り組む必要がある。</p> <p>(新たに取り組むべき事業はないか) ・なし</p>
---

6 施策の総合的な評価

<p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報発信については、多くの媒体を用いて積極的な発信を行っているが、市民全体に情報を届けることは難しい。</li> <li>・市が持っている情報提供媒体のほか、定例記者会見や記者クラブへの投げ込みなど、マスコミを有効に活用することが必要である。</li> <li>・現行の市ホームページのシステムが、平成31年1月にリニアアップとなることから、ホームページリニューアルを図る必要がある。</li> </ul> <p>(今後の方向性)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報発信にあたっては、引き続き「わかりやすくタイムリーに」を心がけ、広報やホームページ、有線等、現在利用できる媒体をフルに活用して積極的に行う。</li> <li>・ホームページの新着情報掲載やマスコミリリース等にあたっては、読む側に興味を持ってもらえるように内容が伝わりやすい見出しや内容となるよう工夫する。</li> <li>・新ホームページ公開予定の平成31年3月に向け、現行より興味を持って見てもらえる画面構成、知りたい情報を見つけやすく、わかりやすい掲載するとともに、ページを作成する職員にも使いやすいホームページを構築する。</li> </ul>
---